



中央会事業より

同一労働同一賃金への対応を学ぶ(組合活力向上事業) ~秋田県物流事業協同組合連合会~

11月24日(火)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、秋田県物流事業協同組合連合会の組合活力向上事業が開催され、組合員等25名が参加しました。

講師には、第一合同法律事務所弁護士長谷川康氏を迎え、令和3年4月1日より中小企業にも適用される「同一労働同一賃金」により正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間に不合理な待遇差を設けること等が禁止される中で、「不合理な待遇差」の判断ポイントが難しいことから、「裁判例からみる『同一労働同一賃金』への対応」をテーマに講演を行い、法改正と判例の内容を踏まえ、各社内で点検すべき事項について確認しました。

出席者の中には令和6年4月に予定されている時間外労働の上限規制適用を労務管理上の課題として挙げている人もいることから、今後、情報提供を行っていくこととしています。



[研修会の様子]

支援団体活動レポート

商店街活性化セミナーを開催

~秋田県商店街振興組合連合会~

新型コロナウイルスの影響により、経営環境が急激に変化し、県内の商店街は苦境に立たされており、地域住民の不安を払拭し、安全・安心に買い物ができるような店舗運営やサービスの提供などが求められています。

そこで、秋田県商店街振興組合連合会(平澤孝夫理事長)では、11月27日(金)、秋田市と大館市及び横手市の県内3会場において、WEB形式により商店街活性化セミナーを開催し、関係者等74名が参加しました。

講師には、老舗百貨店の伊勢丹勤務時に売り場づくりなどを手掛けていたモノコトコネクション株式会社代表取締役徳光次郎氏を迎え、「お客様の視点で考える、商店街の活性化とまちの再生」をテーマに開催し、徳光氏は、「時代の変化に対応し、顧客の声(ニーズ)を具体的に反映するとともに、顧客

ニーズの変化を察知し、柔軟に対応することが、商店街が生き残るためには必要である。」と述べました。出席者からは「昔のような賑わいのある街が人と店によって蘇ると良い」など、アンケートを通じて商店街への様々な意見が出されました。

当連合会では、今後も会員のニーズに合った支援やタイムリーな情報提供を行うこととしています。



[セミナーの様子]

アラカルト ● a la carte ●

■商店街ロゴマークが完成 ~大館市御成町二丁目商店街振興組合~

大館市御成町二丁目商店街振興組合(木村幹人理事長)では、昨年度、来街者の増加や各個店の収益増加につなげていくことを目的にアクションプランを策定しました。初年度となる今年度は、当商店街として目指す統一コンセプトやキャッチコピーを策定したほか、当商店街として初となるロゴマークも制作しました。

これにより、視覚的に商店街の存在を周知するとともに、二丁目通りニッコリピースール、店舗紹介パンフレット作成、置き傘の無料貸し出しなどの誘客促進を行い、お客さんに気軽に足を運んでもらえる商店街を目指していくこととしています。



[PRする木村理事長]

木村理事長は、「魅力ある商店街の実現に向けた第一歩であり、組合員一丸となって踏み出したい。」と述べています。

■環境・保健事業功労団体表彰を受ける ~秋田県保険鍼灸マッサージ協同組合~

令和2年度環境・保健事業功労団体表彰において、秋田県保険鍼灸マッサージ協同組合(佐藤テル理事長)が秋田県知事表彰を授与されました。

受章おめでとうございます。今後益々のご隆盛をご祈念申し上げます。



[佐藤理事長]

インフォメーション

退職職員のお知らせ

本会横手支所主事藤本真寛さんが12月31日をもって退職致しました。

藤本さんは、7年間にわたり県内の組合・業界の育成・支援に力を尽くされ、本会の発展に大きく貢献されました。今後益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。